

## 卒業式

毎朝、6時には学校に来る教頭先生がいます。玄関を開け、職員室を開け、1日がスタートできるようにと準備をしています。

6時30分を過ぎる頃には先生方が出勤（しゅっきん）してきます。毎日重そうなバッグを2つも持ってくる先生がいます。そこには書籍（しょせき）やファイルが入っています。家で授業の準備をしてくるのでしょう。

7時を過ぎると生徒の皆さんが登校してくるための準備が始まります。ほうきを手に入ってくる皆さんが入ってくる昇降口を丁寧にはいている先生がいます。まるで、その場を清めているかのようです。その姿を知っているのは、早く登校してくる生徒だけでしょう。遅く登校してくる生徒は、「走れ！」という声しか知らないかもしれません。

秋になり落ち葉の季節になると、その先生は落ち葉はきを始めます。冬になるとそれが雪かきに変わります。とにかく皆さんが登校してくる前にきれいにしようとしているのです。このようなことを毎日欠かさず行っています。

7時20分になると昇降口が開きます。昇降口には、各学年の先生方がスタンバイしています。声をかけながら皆さんの健康状態などを見えています。北側の門には若手の先生方が立っています。しっかりと役目を果たしています。

部活動が終了し、夕方になります。学校の電話は2回線ありますが、ほとんど使いつ放しです。学校を休んだ生徒の家庭などに連絡をしているのです。家庭訪問に出かける先生もいます。

夜になります。多くの先生方が職員室に残っています。ずっと仕事をしています。働き方改革が叫（さけ）ばれる現在、とてもほめられる職場ではないでしょう。それでも私は野田中学校の先生方を誇りに思います。出てくる言葉は感謝しかありません。

3月11日は、野田中学校の卒業証書授与式の日です。3年生が立派に卒業証書を受け取ることはわかっています。体育館で最初の卒業式の練習を見たときにそう確信しました。3年生の先生方は「最初にしてはすばらしかった」などと言っていました。素直ではないなと思いました。本当はうれしかったくせに。

思いやりと優しさをもった3年生の皆さんに期待していることがあります。お世話になってきた担任の先生の呼名（こめい）に対して、マスクをしながらも15年間の人生で最高の返事をしてくれることです。「ハイ！」と。そして最高の笑顔を見せてくれることです。笑顔には人を幸せにする力があります。